

2025
シンポジウム
10・11 国際ガールズ・デーによせて

若草プロジェクト

現代を生きる 若い女性たちの今 ～女性支援のこれから～

NHK連続テレビ小説
『虎に翼』
の脚本家
吉田恵里香氏

女性を包括的に支援する『困難な問題を抱える女性への支援に関する法律』が施行されて1年、
困難を抱えて生きる若年女性たちへの社会のまなざしは変わりつつあります。

NHK連続テレビ小説『虎に翼』で100年前の女性を描いた吉田恵里香さんと、『NO YOUTH NO JAPAN』代表理事の
能條桃子さんからお話を伺い、若年女性の現在と未来、官民協働の女性支援のこれからについて考えてみませんか。

- 対談 吉田恵里香×村木厚子
能條桃子×村木厚子
- 行政説明 厚生労働省女性支援室室長 中村彩子
東京都福祉局子供・子育て支援部課長 岸田洋二
- 合唱 前代表理事 故大谷恭子を偲んで 女声合唱団 寂

ハイブリッド開催・
対談部分は
後日限定公開

2025年10月11日(土) 開場 11時45分 開会 12時45分
閉会 16時15分(予定)

会場：大妻女子大学 A150 室 (千代田区三番町12番地)

<https://www.otsuma.ac.jp/about/basic/access/chiyodacampus/> (地下鉄半蔵門駅徒歩5分またはJR・地下鉄市ヶ谷駅徒歩10分)

資料代：1,500円 (会場参加に限り学生無料 当日受付で学生証を提示ください)

参加申込：Peatix ページよりお申し込みください。会場定員 300名 Peatix ページよりライブ配信あり

シンポジウム開催後1ヶ月間 対談部分のみ後日 YouTube の限定公開

お申し込み



主催：一般社団法人若草プロジェクト 共催：大妻女子大学共生社会文化研究所

後援：内閣府男女共同参画局、法務省、厚生労働省、こども家庭庁、東京都千代田区

更生保護法人日本更生保護協会、更生保護法人全国保護司連盟、一般社団法人日本更生保護女性連盟、更生保護法人全国更生保護法人連盟、
NPO 法人日本 BBS 連盟

● 若草プロジェクト2025シンポジウム登壇者プロフィール ●

吉田恵里香

脚本家・小説家



1987年生まれ。連続テレビ小説『虎に翼』、映画『ヒロイン失格』、ドラマ『30歳まで童貞だと魔法使いになれるらしい』『君の花になる』などテレビドラマから映画アニメまで数々の作品の脚本を手がける。ドラマ『恋せぬふたり』で第40回向田邦子賞・第77回文化庁芸術祭優秀賞を受賞。アニメ『ぼっち・ざ・ろっく!』で第9回ATA最優秀脚色賞を受賞。執筆した小説に『恋せぬふたり』『にじゅうよんのひとみ』などがある。

能條桃子

一社「NO YOUTH NO JAPAN」
代表理事
FIFTYS PROJECT 代表



1998年生まれ。2019年、若者の投票率が80%を超えるデンマークに留学し、若い世代の政治参加を促進するNO YOUTH NO JAPANを設立。Instagramで選挙や政治、社会の発信活動(現在フォロワー約11万人)をはじめ、若者が声を届けその声が響く社会を目指して、アドボカシー活動、自治体・企業・シンクタンクとの協働などを展開中。2022年、政治分野のジェンダーギャップ解消を目指し20代・30代の地方選挙への立候補を呼びかけ一緒に支援するムーブメントFIFTYS PROJECTを行う一般社団法人NewSceneを設立。慶應義塾大学院経済学研究科修士卒。TIME誌の次世代の100人 #TIME100NEXT 2022選出。

● 『若草プロジェクト』について ●



代表呼びかけ人
故 瀬戸内寂聴



代表呼びかけ人
村木厚子

『若草プロジェクト』は虐待、性被害、貧困などによって生き難さを抱える少女や、若年女性の支援を目的として2016年春、瀬戸内寂聴、村木厚子らの呼びかけによって始められました。

つなぐ(LINE相談の実施、若草ハウス、ステップハウス、まちなか保健室の運営)まなぶ(『女の子の今』を知り『信頼される大人』になるための研修の実施、ひろめる(シンポジウムの開催、広報活動)の3つの事業をとおして支援者のネットワークを作っています。この活動に賛同してくれるみなさまを募集しています。

● 会 費 ●

賛助会員 年1口1万円(賛助企業は5口以上でお願いいたします)

申込先 ゆうちょ銀行 11370-07673281 ワカクサプロジェクト

(銀行からのお振り込みの場合 支店名 一三八 口座番号 0767328)

お問い合わせ

info@wakakusa.jp.net



シンポジウムの
申し込み

https://wakakusa2025.peatix.com

